

**学生の将来に盤
システムを開発**

今年7月、尚絅大学短期大学部の学生専用のインターネット検索サイト「ボランティア・マーケット」のシステムを開発されました。そのきっかけは?

先生質問!!

谷口卓
Taniguchi Takashi

プロフィール
高絅大学短期大学満 総合生活学科准教授・専門分野:社会福祉援助技術論(高齢者、児童)、高齢者福祉論/尚絅学園吉井吉應長編集委員会編委、総合教育センター(兼任)

1983年村田大医学部教育学専攻卒業。
和歌山市教委員会勤務後、社会福祉に振向。
名古屋市立大准教授、ホーリー生活助言室上級助教。
日本福祉大学、高島福祉大学専任講師を経て、
2000年より尚絅大学短期大学部に赴任。

授業で学生に伝えたいことは?

作品は誰かに見てもらつて初めて完成するもの。今後も、「自分と世界との関係」をテーマに、ふつうの生活の中で感じることを表現していく

思うことがあつて描いた作品です。

すよ。絵のタイトルは「対話」です。2人の人物が始まると終わりのないゲームをやっています。人間は昔から同じことを繰り返しているんだな、と

一九九〇年、熊本丸九品寺に立つビルに描かれた壁画が話題になりましたね。制作日数は4月から5月にかけての1カ月間。10～15mほどの高さでしたし、落下防止の網が張つてあつたため、全体を見ながら描くことができず、斜め上から全体を想像しながら描いたんで

らで続けていた絵を描く時間がなくなつて…。10年前、悔いが残らないよう考え方を改め、"絵を描いて売る"画家としての生活をしようと決心しました。専門は油絵と古典的なテンペラ。周囲の方たちに支えられて続けてこられたと感謝しています。

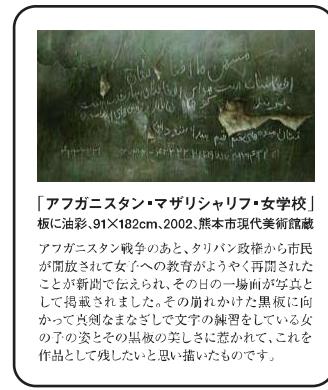
子どものころから絵を描くことが好きだったのですが、『画家』になるつもりはありませんでした。そこで大学卒業後、一日は就職しました。

たる

ボランティア体験、このシステムの出発点も、学生に対する

貴重な経験。さらに、関わった施設や団体にそのまま就職するケースも多く、将来を決めるきっかけにも繋がります。そこでは熊本県と熊本市、熊本市社会福祉協議会との連携から得た情報を簡単に検索できるシステムを構築しようと思つたのです。

学生には夏休みを利用してボランティアを奨励していく。ボランティアは、インターネットのホームページなどで探してくださいため、行つてみたい施設や団体と指導していました。ところが、「インターネットで見つかることは膨大で、一覧で見る情報は膨大で、見出しがあっても断片的。一つひとつを丁寧に見ていくと時間が掛かり過ぎる」と指摘されました。



「アフガニスタン・マザリシャリフ・女学校」
板に油彩、91×182cm、2002、熊本市現代美術館蔵

アフガニスタン戦争のあと、タリバン政権から市民が開放されて女子への教育がようやく再開されたことが新聞で伝えられ、その日の一場面が「写真」として掲載されました。その前掛けた黒板に向かって真剣なまなざしで文字の練習をしている女の子の姿とその黒板の笑しさに惹かれて、これを作品とし「アフガニスタンの女性」が描かれたのです。

大切にして、社会人として成長してほしい。授業では、保育者の養成を念頭に、子どもたちと一緒に造形を楽しめる技法を体験させています。また、少人数の授業では、物事を見つめる力を育て、個人の感性を伸ばすことを目的にしています。キャンバスの中で想い出に残る場所を撮影し、音楽や言葉をつけて映像作品に仕上げる過程などを通して、自分の思いを人に伝える、表現の方法を学んでもらいたいと考えています。

学生と接して驚くのは

A collage of three photographs. The top photo shows a white apartment building with a large mural of a baby's face on the side. The middle photo shows a mural of a person's face on a yellow wall. The bottom photo shows a man painting a mural on a wall.

 <http://www.volunteer-kumamoto.jp/>